

1PF サイバーセキュリティ基盤 (CISP入門講座)				2CD サイバーディフェンス実践演習				3IN セキュリティインテリジェンスと 心理・倫理・法				4DF デジタル・フォレンジック				5MG 情報セキュリティマネジメントと ガバナンス				6DD セキュアシステム設計・開発			
主担当: 安田 浩/副: 岩井 将行				主担当: 八横 博史				主担当: 安田 浩				主担当: 佐々木 良一				主担当: 猪俣 敦夫/副: 岩井 将行				主担当: 佐々木 良一			
回	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	日時	種類	テーマ内容	回	
1	4/8	金	英語資料 CISP入門講座 CISP概要8ドメインに関するイントロ ダクション	4/16	土	サイバーディフェンス総論 脅威の歴史から最新の脅威を 踏まえながら	4/7	木	講義 CySec概要 セキュリティインテリジェンス 概論	9/16	金	講義 デジタルフォレンジック 入門	9/13	火	講義 ハードウェアセキュ リティ:暗号鍵に対する サイドチャネル攻撃と 対策	9/17	土	講義 英語資料 総論:セキュアシステム設 計・開発					1
2	4/15	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティとリスクマネジメント(セキュ リティ, リスク, コンプライアンス, 法, 規制, 事業継続) ①	4/16	土	演習 攻撃コードの検知技法演習①	4/14	木	講義 企業の情報資産防衛と法制 度・政策の交錯 — 米国の 例を参考に	9/23	金	講義 ハードディスクの構造・ ファイルシステム	9/20	火	講義 制御システム, 組み込 み機器のセキュリティ	9/17	土	演習 セキュアプログラミング ネイティブアプリケーション①					2
3	4/22	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティとリスクマネジメント(セキュ リティ, リスク, コンプライアンス, 法, 規制, 事業継続) ②	4/16	土	演習 攻撃コードの検知技法演習②	4/21	木	講義 サイバー犯罪と心理学	9/30	金	講義 フォレンジックのための OS(Windows)概論	9/27	火	講義 内部統制及びIT統 制	9/17	土	演習 セキュアプログラミング ネイティブアプリケーション②					3
4	4/29	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティの運用(概念, 調査, インシデ ント管理, ディザスタリカバリ)①	5/14	土	演習 脆弱検出方法(Webアプリケー ション, スマートフォン)①	4/28	木	演習 ソーシャルエンジニアリング 技法	10/7	金	講義 フォレンジック作業 データ保全	10/4	火	講義 セキュリティ監査技法	10/8	土	演習 セキュアプログラミング Webアプリケーション①					4
5	5/6	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティの運用(概念, 調査, インシデ ント管理, ディザスタリカバリ)②	5/14	土	演習 脆弱検出方法(Webアプリケー ション, スマートフォン)②	5/12	木	講義 セキュリティ倫理	10/14	金	講義 フォレンジック作業 データ復元	10/11	火	講義 情報セキュリティメ ンジメント における標準化動向	10/8	土	演習 セキュアプログラミング Webアプリケーション②					5
6	5/13	金	英語資料 CISP入門講座 アイデンティティとアクセスの管理(ア セス制御とID管理)	5/14	土	講義 英語資料 マルウェアの歴史/解析環境	5/19	木	講義 企業戦略と社会的責任 (CSR)	10/21	金	演習 フォレンジック保全・復 元作業 演習	10/18	火	講義 リスクマネジメントとリス ク分析	10/8	土	講義 セキュアインフラ構築(ネット ワーク)					6
7	5/20	金	英語資料 CISP入門講座 資産のセキュリティ(資産の保護)	5/28	土	演習 マルウェア解析演習①マルウェ アの感染手法と検出技術	5/26	木	講義 CSIRT(CSIRTの目的, 意 義, 組織連携)	10/28	金	講義 法リテラシーと法廷対 応(國學院大學 法廷 教室にて実施)	10/25	火	演習 リスクマネジメントとリス ク分析 演習(ケース スタディ)	11/5	土	演習 セキュアインフラ構築(サー バ)					7
8	5/27	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティエンジニアリング(セキュ リティ設計と構築)①	5/28	土	演習 マルウェア解析演習②表層解 析演習	6/2	木	講義 データプロテクションと国際訴 訟	11/4	金	講義 フォレンジック作業 データ解析①	11/8	火	講義 暗号技術①	11/5	土	講義 セキュリティ脅威分析					8
9	6/3	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティエンジニアリング(セキュ リティ設計と構築)②	5/28	土	講義 統合ログ管理によるマルウェア 感染インディケーター分析	6/9	木	講義 サイバーセキュリティ損害保 険の概要とグローバル概況	11/11	金	講義 フォレンジック作業 データ解析②	11/15	火	講義 暗号技術②	11/5	土	演習 セキュリティ脅威分析 演習					9
10	6/10	金	英語資料 CISP入門講座 通信とネットワークセキュリティ(ネット ワークセキュリティの設計と保護)①	6/11	土	演習 マルウェア解析演習③-1 動的 解析・静的解析演習①	6/16	木	講義 セキュリティコンサルティング 概論とその技法(事例を踏ま えたケーススタディー)	11/18	金	演習 フォレンジック解析作 業 演習	11/22	火	講義 認証技術	11/26	土	演習 プロジェクト・マネジメント 演習					10
11	6/17	金	英語資料 CISP入門講座 通信とネットワークセキュリティ(ネット ワークセキュリティの設計と保護)②	6/11	土	演習 マルウェア解析演習③-2 動的 解析・静的解析演習②	6/23	木	講義 英語資料 サイバーセキュリティと通信の 秘密	11/25	金	講義 モバイルフォレンジック	11/29	火	講義 ホワイトリストによるサイ バー攻撃対策	11/26	土	講義 セキュリティ要求仕様と分析 手法					11
12	6/24	金	英語資料 CISP入門講座 ソフトウェア開発セキュリティ(ソフトウェ アセキュリティの理解, 適用と執行)①	6/11	土	演習 脆弱性検出技法(フレンジング, リバース エンジニアリング)①Brute Forceか ら一歩進んだソフトウェアテスト・ 解析技術の応用	6/30	木	演習 インシデントハンドリングワー クショップ	12/2	金	講義 英語資料 ネットワークフォレン ジック	12/6	火	講義 CSIRT起点による組織 マネジメントとセキュ アデザイン技法	11/26	土	演習 セキュリティ要求仕様と分析 手法 演習					12
13	7/1	金	英語資料 CISP入門講座 ソフトウェア開発セキュリティ(ソフトウェ アセキュリティの理解, 適用と執行)②	6/25	土	講義 攻撃の検知, 解析 (IDS/IPS/相 関分析・SIEM) ①	7/7	木	演習 Threat Intelligenceと情報共 有プラットフォームSTIX	12/9	金	演習 ネットワークフォレン ジック演習	12/13	火	演習 英語資料 インシデントレスポンス 演習①	12/17	土	講義 開発手法 コモンライテ リア(ISO/IEC15408)					13
14	7/8	金	英語資料 CISP入門講座 セキュリティの評価とテスト(セキュリ ティの設計, 実行, 分析)	6/25	土	講義 攻撃の検知, 解析 (IDS/IPS/相 関分析・SIEM) ②	7/14	木	講義 インシデント対応のガイドラ イン・成熟度モデル	12/16	金	講義 代表的な対象における DFの方法	12/20	火	演習 英語資料 インシデントレスポンス 演習②	12/17	土	演習 開発手法 コモンライテ リアの評価方法論および演 習(ケーススタディ)					14
15	7/15	金	まとめと学力考査	6/25	土	講義 まとめと学力考査	7/21	木	講義 サイバーインテリジェンスvsセ キュリティインテリジェンス総 括発表会/総合学力考査	1/20	金	講義 デジタルフォレンジック の今後の展開/学力考 査	1/17	火	講義 まとめと学力考査	12/17	土	講義 セキュアプログラミング 総 合 セキュアな開発のライフサイ クルと脆弱性を作りこまない 開発セキュリティ基盤総合/ 学力考査					15

1PF サイバーセキュリティ基盤 (CISSP入門講座)			2CD サイバーディフェンス実践演習			3IN セキュリティインテリジェンスと 心理・倫理・法			4DF デジタル・フォレンジック			5MG 情報セキュリティマネジメントと ガバナンス			6DD セキュアシステム設計・開発			回
主担当: 安田 浩/副: 岩井 将行			主担当: 八横 博史			主担当: 安田 浩			主担当: 佐々木 良一			主担当: 猪俣 敦夫/副: 岩井 将行			主担当: 佐々木 良一			
日	時	種類	日	時	種類	日	時	種類	日	時	種類	日	時	種類	日	時	種類	
時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	
1	4/8	金 講義	4/16	土 9:00~10:30	講義	4/7	木 講義	4/7	木 講義	9/16	金 講義	9/13	火 講義	9/17	土 9:00~10:30	講義	1	
18:10~19:40 安田 浩/CISSP/東京電機大学 小原 慶一郎/CISSP/(ISC)2 Japan 河野 省二/株式会社ディア イティ 長谷川 長一/株式会社ラック 小林 浩史/NECマネジメントハ ートナ			八横 博史/東京電機 大学 奥村 恭弘/NTTコミュ ニケーションズ株式会社			安田 浩/東京電機 大学,事務部/東京 電機大学			佐々木 良一/東京 電機大学			猪俣 敦夫/東京電機 大学			安田 浩・柿崎 淑郎 /東京電機大学			
2	4/15	金 講義	4/16	土 10:40~12:10	演習	4/14	木 講義	9/23	金 講義	9/20	火 講義	9/17	土 10:40~12:10	演習	2			
河野 省二/株式会社ディア イティ			草場 英仁/東京大学			橋本 豪/西村あさ ひ法律事務所			上原 哲太郎/立命 館大学			金野 千里/独立行政 法人 情報処理推進機 構			富樫 晃/神奈川県立 東部総合職業技術校			
3	4/22	金 講義	4/16	土 13:10~14:40	演習	4/21	木 講義	9/30	金 講義	9/27	火 講義	9/17	土 13:10~14:40	演習	3			
河野 省二/株式会社ディア イティ			草場 英仁/東京大学			越智 啓太/法政大 学			上原 哲太郎/立命 館大学			伊藤 潤/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			富樫 晃/神奈川県立 東部総合職業技術校			
4	4/29	金 講義	5/14	土 9:00~10:30	演習	4/28	木 演習	10/7	金 講義	10/4	火 講義	10/8	土 9:00~10:30	演習	4			
長谷川 長一/株式会社ラック			山谷・角田/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			角尾 幸保/日本電 気株式会社			野崎 周作/株式会 社FRONTEO			伊藤 潤/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			久保 正樹、戸田 洋 三/一般社団法人 JPCERT/CC			
5	5/6	金 講義	5/14	土 10:40~12:10	演習	5/12	木 講義	10/14	金 講義	10/11	火 講義	10/8	土 10:40~12:10	演習	5			
長谷川 長一/株式会社ラック			山谷・角田/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			大河内 智秀/東京 電機大学			白濱 直哉/有限責 任監査法人トーマツ			原田 要之助/情報セ キュリティ大学院大学			久保 正樹、戸田 洋 三/一般社団法人 JPCERT/CC			
6	5/13	金 講義	5/14	土 13:10~14:40	講義	5/19	木 講義	10/21	金 演習	10/18	火 講義	10/8	土 13:10~14:40	講義	6			
小林 浩史/NECマネジメントハ ートナ			六宮 智悟/トレンドマイ クロ株式会社			中島 一樹/トヨタ 自動車株式会社			白濱 直哉/有限責 任監査法人トーマツ			金児 茂/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			寺田 真敏/株式会社 日立製作所			
7	5/20	金 講義	5/28	土 9:00~10:30	演習	5/26	木 講義	10/28	金 講義	10/25	火 演習	11/5	土 9:00~10:30	演習	7			
小林 浩史/NECマネジメントハ ートナ			木村 仁美/トレンドマイ クロ株式会社			清永 拓邦/東京大 学			櫻庭 信之/西村あさ ひ法律事務所			金児 茂/三井物産セ キュアディレクション株式 会社			井上 吉隆/NTTセ キュアプラットフォーム 研究所			
8	5/27	金 講義	5/28	土 10:40~12:10	演習	6/2	木 講義	11/4	金 講義	11/8	火 講義	11/5	土 10:40~12:10	講義	8			
長谷川 長一/株式会社ラック			木村 仁美/トレンドマイ クロ株式会社			高取 芳宏/オリク 東京法律事務所			白濱 直哉/有限責 任監査法人トーマツ			齊藤 泰一/東京電機 大学			亀田 勇歩/SCSK株 式会社			
9	6/3	金 講義	5/28	土 13:10~14:40	講義	6/9	木 講義	11/11	金 講義	11/15	火 講義	11/5	土 13:10~14:40	演習	9			
河野 省二/株式会社ディア イティ			市田 達也/株式会社リ クルートテクノロジーズ			大森 英直/株式会 社ジェイアイエヌ 奥田 茂/AIU損害 保険株式会社			野崎 周作/株式会 社FRONTEO			齊藤 泰一/東京電機 大学			亀田 勇歩/SCSK株 式会社			
10	6/10	金 講義	6/11	土 9:00~10:30	演習	6/16	木 講義	11/18	金 演習	11/22	火 講義	11/26	土 9:00~10:30	演習	10			
小林 浩史/NECマネジメントハ ートナ			木村 仁美/トレンドマイ クロ株式会社			伊藤 潤/三井物産 セキュアディレクショ ン株式会社			白濱 直哉/野崎周 作			大鐘 博子/株式会社 NSD			奥村 恭弘/NTTコミュ ニケーションズ株式会 社			
11	6/17	金 講義	6/11	土 10:40~12:10	演習	6/23	木 講義	11/25	金 講義	11/29	火 講義	11/26	土 10:40~12:10	講義	11			
小林 浩史/NECマネジメントハ ートナ			木村 仁美/トレンドマイ クロ株式会社			土屋 日路親/総務 省			野崎 周作/株式会 社FRONTEO			ハミングヘッド株式会 社/齋藤 良平			大久保 隆夫/情報セ キュリティ大学院大学			
12	6/24	金 講義	6/11	土 13:10~14:40	演習	6/30	木 演習	12/2	金 講義	12/6	火 講義	11/26	土 13:10~14:40	演習	12			
河野 省二/株式会社ディア イティ			松木 晋祐/株式会社 ベリサーブ			清永 拓邦/東京大 学			八横 博史/東京電 機大学			佳山 こうせつ/富士通 株式会社			大久保 隆夫/情報セ キュリティ大学院大学			
13	7/1	金 講義	6/25	土 9:00~10:30	講義	7/7	木 演習	12/9	金 演習	12/13	火 演習	12/17	土 9:00~10:30	講義	13			
河野 省二/株式会社ディア イティ			正木 健介/NRIセキュ アテクノロジーズ株式会 社			清永 拓邦/東京大 学			八横 博史/東京電 機大学			林 郁也/NTTコミュ ニケーションズ株式会 社			平井 康雅/株式会社 NTTデータ			
14	7/8	金 講義	6/25	土 10:40~12:10	講義	7/14	木 講義	12/16	金 講義	12/20	火 演習	12/17	土 10:40~12:10	演習	14			
長谷川 長一/株式会社ラック			正木 健介/NRIセキュ アテクノロジーズ株式会 社			小村 誠一/NTT- AT			白濱 直哉/有限責 任監査法人トーマツ			林 郁也/NTTコミュ ニケーションズ株式会 社			平井 康雅/株式会社 NTTデータ			
15	7/15	金 講義	6/25	土 13:10~14:40	講義	7/21	木 講義	1/20	金 講義	1/17	火 講義	12/17	土 13:10~14:40	講義	15			
安田 浩/CISSP/東京電機大学 河野 省二/株式会社ディア イティ 長谷川 長一/株式会社ラック			八横 博史/東京電機 大学			安田 浩/東京電機 大学			佐々木 良一/東京 電機大学			猪俣 敦夫/東京電機 大学			安田 浩・柿崎 淑郎 /東京電機大学			



2016年度(平成28年度)

文部科学省  
「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」  
選定

東京電機大学  
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」  
募集要項

<履修証明制度対応>



<https://cysec.dendai.ac.jp/>

**TDU 東京電機大学**

2016年度(平成28年度)

文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」選定

東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」募集要項

<履修証明制度対応>

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」として、6科目(120時間)を開講します。このコースは、履修証明制度に対応しています。

### 1. 教育目的

悪意ソフト攻撃は増加の一途であり、サイバーセキュリティ(以下CySと略す)のより一層の充実は、社会を安心・安全・豊かにするための喫緊の課題です。そのためには、社会活動に参加するすべての人々のCyS意識を高める必要があります。

本プログラムは、社会構成員全員のCyS意識の高揚を先導する、高度CyS専門家を養成することを目的としています。

### 2. 教育課程

本プログラムでは、企業における情報セキュリティを統括する最高情報セキュリティ責任者(Chief Information Security Officer: CISO)や、セキュアな情報システムの開発において主導的役割を果たす上級セキュリティエンジニアを、育成すべき高度人材像としています。そのような人材を育成するため、企業等で活躍されている専門家を招聘し、事例紹介と事例に基づくワークショップ形式の演習と、座学ワークショップを合わせて実施します。

具体的には、法律・倫理など制度的枠組みに関する理解や、攻撃者の意図や行動に関する洞察、企業におけるコンプライアンスを実現するためのガバナンスなど、幅広くかつ高度な能力を育成するために、以下の6科目(演:演習中心3講座、講:講義・ワークショップ中心3講座)を開講します。

開講する科目は、大学院修士課程レベルの内容です。

① サイバーセキュリティ基盤	(1PF)	(講)
② サイバーディフェンス実践演習	(2CD)	(演)
③ セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	(3IN)	(講)
④ デジタル・フォレンジック	(4DF)	(演)
⑤ 情報セキュリティマネジメントとガバナンス	(5MG)	(講)
⑥ セキュアシステム設計・開発	(6DD)	(演)

※ 科目名に記載した英数字は科目記号です。

### 3. 履修証明書

学校教育法に基づく履修証明制度により、プログラム修了者には、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース履修証明書」を授与します。



【本プログラムにおける履修証明書交付要件】

開講される6科目(120時間)を修得すること

【履修証明制度概要】

平成19年度の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。

これは、学生を対象とした学位プログラムの他に、社会人等を対象とした120時間以上の学習プログラム(履修証明プログラム)を提供し、修得した者に履修証明書を発行する制度です。履修証明制度には、以下の3点の特徴があります。

- (1)大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能
- (2)再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム
- (3)プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付

※履修証明制度に関する文部科学省 Web ページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

4. 募集人員

国際化サイバーセキュリティ学特別コース 2016年度 定員 30名

5. 講座実施場所

東京電機大学 東京千住キャンパス

6. 開講期間・開講日時等

前期: 2016年4月6日(水)~2016年7月29日(金)

後期: 2016年9月12日(月)~2017年1月27日(金)

時間割は以下の通り。

科目名	配当期	曜日	時限
サイバーセキュリティ基盤(1PF)	前期	金	6
サイバーディフェンス実践演習(2CD)	前期	土	1,2,3
セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法(3IN)	前期	木	6
デジタル・フォレンジック(4DF)	後期	金	6
情報セキュリティマネジメントとガバナンス(5MG)	後期	火	6
セキュアシステム設計・開発(6DD)	後期	土	1,2,3

※ 各科目のシラバスについては Web ページを参照

<https://cysec.dendai.ac.jp/lecture/>

受講にはノートPCが必要となります。推奨するスペック等については、Webページでお知らせする予定です。

## 7. 受講資格

本プログラムは、CISO、上級セキュリティエンジニア等を目指す、基本的な情報セキュリティの知識を有する者を対象に開講します。

次の各号の一つに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- ① 大学を卒業した者、及び本プログラム受講時までに卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、及び本プログラム受講時までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、および本プログラム受講時までに修了見込みの者
- ④ 大学の3年次に在学し、当該大学(学部)で定める早期卒業基準を満たす者
- ⑤ 大学の3年次に在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院未来科学研究科委員会が、優れた成績で所定の単位を修得したものと認めた者
- ⑥ その他本大学院未来科学研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

開講される各科目を履修する際の前提条件は次の通りです。

### (1PF) サイバーセキュリティ基盤

- ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。

### (2CD) サイバーディフェンス実践演習

- 分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IP およびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。
- UNIX系OSの操作に習熟していること。
- プログラミング経験を有すること。
- アセンブリ知識を有していること(x86)

### (3IN) セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

### (4DF) デジタル・フォレンジック

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

### (5MG) 情報セキュリティマネジメントとガバナンス

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 3IN セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法の先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

### (6DD) セキュアシステム設計・開発

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 基本的なプログラミング能力、基礎的なHTML/DBの知識を前提とする
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

## 8. 出願手続き及び期間

出願には、まずエントリーが必要となります。エントリーの際に、受講資格審査で使用する



る簡単なレポートをご記入いただきますので、つぎの WEB ページアクセスして、受付期間内にエントリーを済ませてください。

なお、募集要項についても、同様の WEB ページで入手することが可能です。

WEB ページ <https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

【受付期間】 2016 年 1 月 12 日(火)～2016 年 2 月 12 日(金) 必着

【**手続書類**】

- ① 東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書  
写真 1 枚(脱帽上半身、背景なし、最近 3 ヶ月以内撮影、願書の所定欄に貼付してください。)
- ② 最終出身学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書

※ 上記の手続き書類の他に、受講資格審査料の振り込みが必要となります。詳細については、「9. 受講資格審査と審査料について」を参照してください。

【**注意事項**】

- 出願は、郵送での受付となります。持参による提出はできません。
- 出願者は、出願書類一式(上記①～③の書類)を、角形第 2 号封筒(240×332mm)に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。(持参による提出は不可)
- 郵送の際は、封筒の表面に「出願書類在中」と朱記してください。また封筒の裏面に  
出願者の住所、氏名を記載して下さい。
- 郵送された願書等は返却いたしません。

出願に必要な、【**手続書類**】①②③を、次の送付先に郵送してください。

【**手続き書類の送付先**】

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番  
東京電機大学 1号館 14階  
国際化サイバーセキュリティ学特別コース事務局 行

9. 受講資格審査と審査料について

面接による受講資格審査を行います。受講資格審査には「受講資格審査料」がかかりますので次の通り振込をお願いします。

【**受講資格審査日時**】： 2016 年 2 月 20 日(土) 14 時 00 分～

※出願順に実施します



【受講資格審査場所】：東京千住キャンパス  
〒120-8551

東京都足立区千住旭町 5 番  
北千住駅東口(電大口)から徒歩 1 分

( JR 常磐線・東京メトロ(日比谷線・千代田線)・  
東武伊勢崎線・つくばエクスプレス )

※ 場所等詳細については 2 月 19 日(金)までにご連絡いたします。

【受講資格審査料振込期間】

：2016 年 1 月 12 日(火)～2016 年 2 月 12 日(金)

【受講資格審査料振込先】

銀行名：三菱東京UFJ銀行(0005)  
支店名：神田支店(331)  
種別：普通  
口座番号：1186980  
名義：学校法人 東京電機大学 受講料口  
理事長 加藤 康太郎  
振込金額 10,000 円 (受講資格審査料)

※ 振込人名義の頭に 3000 と入れてください。

※ 振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

## 10. 受講資格審査結果通知

受講資格審査結果は以下の通知日に電子メールにて通知いたします。

【通知日】：2016 年 2 月 23 日(火) 予定

※ 2 月 25 日(木)に電子メールによる合否通知が届かない場合は、以下の Web ページの問い合わせフォームでお問い合わせください。

Web ページ：<https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>

※ お問い合わせ内容の 1 行目に「CyS 合否通知不着」と記載してください。2 行目以降に、氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

## 11. 受講手続き等

受講資格審査合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費等の振込を含めた手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

【必要となる書類】

① 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書

② 受講費等の振込用紙

●受講手続き時に必要となる費用(受講費・施設利用費・教材費)

【受講費】 16,000 円/科目 (6 科目で 96,000 円)

1 科目 16,000 円 2 科目 32,000 円

3 科目 48,000 円 4 科目 64,000 円



5科目 80,000円 6科目 96,000円  
(本来は 32,000円/科目 平成 28年度は半額)

※ 子育て世代女性の受講支援のため、一定の要件を満たした場合、上記とは別の受講費を設定していません。詳しくは巻末に記載のお問い合わせフォームにてご連絡ください。

【施設利用費】 10,000円(半期)

(IDカード作成費、PC等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】 実費(US\$200) ⇒ 24,500円程度(12月初旬)

※ 電子教材費は、為替レートにより変動しますが、為替変動により生ずる差額については精算しません。

※ 電子教材費は、受講資格審査結果通知の際に確定金額を改めてお知らせします。

※ この電子教材費以外に教科書等の購入費がかかる場合があります。

※ 受講手続きには健康診断書(指定項目(身長、体重、胸部 X線所見、問診)の入ったもの)が必要になります。(職場の健康診断の写しでも可能。ただし過去1年以内のものに限る。)

※ 一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

【手続締切日】 : 2016年3月25日(金) 必着

【お問い合わせ先】

お問い合わせは Web のフォームからお願いします。

お問合せフォーム <https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>



2016年度（平成28年度）東京電機大学  
 「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」  
 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書

受験番号

		記入日	2016 年	月	日
ふりがな					性別      男      女  はがれないように 枠内にしっかり貼 付ける。 写真うら面には、 氏名を記入する。
氏名					
氏名ローマ字					
生年月日	西暦	年	月	日	生
ふりがな					
現住所 〒					
TEL		携帯		FAX	
E-Mail					

職場	企業・組織名	
	部署名	
	TEL	

学歴	年	月	学	校	名
	高等学校 卒業				
大学					学部
					学科 卒業

職歴	期	間	勤 務 先 名		
	年	月	～	年	月

- ※1 申請いただいた方の情報は、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」の運用のため以外には使用いたしません。
- ※2 受講資格審査日時は、2016年2月20日（土） 14時00分 からを予定しています。詳細は追ってご連絡いたします。



2016 年度(平成 28 年度)

文部科学省  
「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」  
選定

東京電機大学  
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」  
後期募集要項

<履修証明制度対応>



<https://cysec.dendai.ac.jp/>

**TDU 東京電機大学**

2016 年度(平成 28 年度)  
文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」選定  
東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」募集要項  
＜履修証明制度対応＞

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」として、6 科目(135 時間)を開講します。このコースは、履修証明制度に対応しています。

### 1. 教育目的

悪意ソフト攻撃は増加の一途であり、サイバーセキュリティ(以下CySと略す)のより一層の充実、社会を安心・安全・豊かにするための喫緊の課題です。そのためには、社会活動に参加するすべての人々のCyS意識を高める必要があります。

本プログラムは、社会構成員全員のCyS意識の高揚を先導する、高度CyS専門家を養成することを目的としています。

### 2. 教育課程

本プログラムでは、企業における情報セキュリティを統括する最高情報セキュリティ責任者(Chief Information Security Officer: CISO) や、セキュアな情報システムの開発において主導的役割を果たす上級セキュリティエンジニアを、育成すべき高度人材像としています。そのような人材を育成するため、企業等で活躍されている専門家を招聘し、事例紹介と事例に基づくワークショップ形式の演習と、座学ワークショップを合わせて実施します。

具体的には、法律・倫理など制度的枠組みに関する理解や、攻撃者の意図や行動に関する洞察、企業におけるコンプライアンスを実現するためのガバナンスなど、幅広くかつ高度な能力を育成するために、以下の6科目(演:演習中心3講座、講:講義・ワークショップ中心3講座)を開講します。

開講する科目は、大学院修士課程レベルの内容です。

① デジタル・フォレンジック	(4DF)	(演)	
② 情報セキュリティマネジメントとガバナンス	(5MG)	(講)	
③ セキュアシステム設計・開発	(6DD)	(演)	
④ サイバーセキュリティ基盤	(1PF)	(講)	} 次年度前期 開講予定
⑤ サイバーディフェンス実践演習	(2CD)	(演)	
⑥ セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	(3IN)	(講)	

※科目名に記載した英数字は科目記号です。

※上記のうち、英語で行う授業(テキスト含む。)が一部あります。

### 3. 履修証明書

学校教育法に基づく履修証明制度により、プログラム修了者には、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース 履修証明書」を授与します。

【本プログラムにおける履修証明書交付要件】

開講される 6 科目(135 時間)を修得すること

### 【履修証明制度概要】

平成 19 年度の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。

これは、学生を対象とした学位プログラムの他に、社会人等を対象とした 120 時間以上の学習プログラム(履修証明プログラム)を提供し、修得した者に履修証明書を発行する制度です。履修証明制度には、以下の 3 点の特徴があります。

- (1) 大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能
- (2) 再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム
- (3) プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付

※履修証明制度に関する文部科学省 Web ページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

## 4. 募集人員

国際化サイバーセキュリティ学特別コース

2016 年度 後期 募集人数 10 名程度

## 5. 講座実施場所

東京電機大学 東京千住キャンパス

## 6. 開講期間・開講日時等

後期： 2016 年 9 月 12 日(月)～2017 年 1 月 27 日(金)

時間割は以下の通り。

科目名	配当期	曜日	時限
デジタル・フォレンジック(4DF)	後期	金	6
情報セキュリティマネジメントとガバナンス(5MG)	後期	火	6
セキュアシステム設計・開発 (6DD)	後期	土	1,2,3

※ 各科目のシラバスについては Web ページを参照

<https://cysec.dendai.ac.jp/lecture/>

受講にはノートPCが必要となります。推奨するスペック等については、Web ページでご確認ください。

## 7. 受講資格

本プログラムは、CISO、上級セキュリティエンジニア等を目指す、基本的な情報セキュリティの知識を有する者を対象に開講します。

次の各号の一つに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- ① 大学を卒業した者、及び本プログラム受講時までに卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、及び本プログラム受講時までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、および本プログラム受講時までに修了見込みの者
- ④ 大学の 3 年次に在学し、当該大学(学部)で定める早期卒業基準を満たす者
- ⑤ 大学の 3 年次に在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院未来科学研究科委員会が、優れた成績で所定の単位を修得したものと認めた者
- ⑥ その他本大学院未来科学研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

開講される各科目を履修する際の前提条件は次の通りです。

(4DF) デジタル・フォレンジック

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(5MG) 情報セキュリティマネジメントとガバナンス

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 3IN セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法の先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(6DD) セキュアシステム設計・開発

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 基本的なプログラミング能力、基礎的なHTML/DBの知識を前提とする
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

次年度前期開講予定

(1PF) サイバーセキュリティ基盤

- ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。

(2CD) サイバーディフェンス実践演習

- 分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IP およびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。
- UNIX 系OS の操作に習熟していること。
- プログラミング経験を有すること。
- アセンブリ知識を有していること(x86)

(3IN) セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法

- 1PF サイバーセキュリティ基盤の先修を推奨する。
- 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

## 8. 事前審査について

出願に先立ち事前審査(エントリー)が必要となります。事前審査(エントリー)は、以下の WEB ページにおいて受け付けています。事前審査(エントリー)の受付期間は次の通りです。

なお、事前審査(エントリー)には費用は、かかりません。



WEB ページ <https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

【受付期間】 2016 年 7 月 1 日(金) 12:00 ～ 2016 年 7 月 7 日(木) 12:00

事前審査結果は、2016 年 7 月 11 日(月)に、電子メールにてご連絡します。

## 9. 出願手続き及び期間

事前審査に合格された方は、次の要領で出願することが可能です。

出願書類は、次の WEB ページからダウンロードできます。

WEB ページ <https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

【受付期間】 2016 年 7 月 12 日(火) ～ 2016 年 7 月 28 日(木) 必着

### 【手続書類】

- ① 東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書  
写真 1 枚(脱帽上半身、背景なし、最近 3 ヶ月以内撮影、願書の所定欄に貼付してください。)
- ② 最終出身学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書

※ 上記の手続き書類の他に、受講資格審査料の振り込みが必要となります。詳細については、「10. 受講資格審査と審査料について」を参照してください。

### 【注意事項】

- 出願は、郵送での受付となります。持参による提出はできません。
- 出願者は、出願書類一式(上記 ①～③の書類)を、角形第 2 号封筒(240×332mm)に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。(持参による提出は不可)
- 郵送の際は、封筒の表面に出願書類在中と朱記してください。また封筒の裏面に出願者の住所、氏名を記載して下さい。
- 郵送された願書等は返送いたしません。

出願に必要となる、【手続書類】①②③を、次の送付先に郵送してください。

### 【手続き書類の送付先】

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番  
東京電機大学 1号館 14階  
国際化サイバーセキュリティ学特別コース 事務局 行

## 10. 受講資格審査と審査料について

面接による受講資格審査を行います。受講資格審査には「受講資格審査料」がかかりますので次の通り振込をお願いします。

【受講資格審査日時】：2016年8月2日(火) 18:00～21:00

※事前審査合格者で受講資格審査を希望する全員の面接を上記時間内に行います。なお、面接は出願順となります。

【受講資格審査場所】：東京千住キャンパス

〒120-8551

東京都足立区千住旭町5番

北千住駅東口(電大口)から徒歩1分

〔 JR常磐線・東京メトロ(日比谷線・千代田線)・  
東武伊勢崎線・つくばエクスプレス 〕

※場所や時間等詳細については7月29日(金)までに電子メールでご連絡します。

【受講資格審査料振込期間】

：2016年7月12日(火)～2016年7月28日(木)

【受講資格審査料振込先】

銀行名：三菱東京UFJ銀行(0005)

支店名：神田支店(331)

種別：普通

口座番号：1186980

名義：学校法人 東京電機大学 受講料口  
理事長 加藤 康太郎

振込金額 10,000 円 (受講資格審査料)

※振込人名義の頭に3000と入れてください。

※振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

※一度振り込まれた受講資格審査費用は、面接を欠席された場合でも返金しません。

## 11. 受講資格審査結果通知

受講資格審査結果は以下の通知日に電子メールにて通知いたします。

【通知日】：2016年8月4日(木) 予定

※8月4日(木)に電子メールによる可否通知が届かない場合は、以下のWebページの問い合わせフォームでお問い合わせください。

・Web ページ：<https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>

※お問い合わせ内容の1行目に「CyS 可否通知不着」と記載してください。2行目以降に、氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

※8月中の土曜日と日曜日、および、8月8日(月)から15日(月)は、大学全体一斉休暇のため、すべての事務取扱いを停止しております。そのため、上記期間にいただいたお問い合わせ等の回答は、上記一斉休暇明けとなります。ご了承ください。

## 12. 受講手続き等

受講資格審査合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費等の振込を含めた手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

### 【必要となる書類】

- ① 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書
- ② 受講費等の振込用紙

● 受講手続き時に必要となる費用（受講費・施設利用費・教材費）

【受講費】 1科目 16,000円 2科目 32,000円  
3科目 48,000円 (3科目で48,000円)

(本来は 32,000円/科目 平成 28 年度後期入学者は半額)

※ 子育て世代女性の受講支援のため、一定の要件を満たした場合、上記とは別の受講費を設定していません。詳しくは巻末に記載のお問い合わせフォームにてご連絡ください。

【施設利用費】 10,000円(半期)

(IDカード作成費、PC等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】 実費 (参照:H28前期 \$200。\$1を100円～120円で計算すると、20,000円～24,000円)

※ 電子教材費は、受講人数と為替レートにより変動しますので、後日改めてご連絡します。

※ この電子教材費以外に科目によっては教科書等の購入費がかかる場合があります。

※ 受講手続きには健康診断書 (指定項目(身長、体重、胸部X線所見、問診)の入ったもの)が必要になります。(職場の健康診断の写しでも可能。ただし過去1年以内のものに限る。)

※ 一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

【手続締切日】：2016年9月2日(金) (書類必着、費用振込)

### 【お問い合わせ先】

お問い合わせはWebのフォームからお願いします。

お問合せフォーム <https://cysec.dendai.ac.jp/contact/>